



交通安全情報

やまなし

財団法人 山梨県交通安全協会
 発行所
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 055-280-5550
 〒400-0202 南アルプス市下高砂 847
 ホームページ
<http://www.yamanashi-ankyo.jp>

CONTENTS

- 2 山梨県警察本部交通部参事官・北杜交通安全協会会長あいさつ、交通安全功労者等表彰式
- 3 南甲府安協女性部の活動、鯉沢安協女性部活動、地推委員研修会、高齢者事故防止
- 4 各地区安協の活動

173号

夏の交通事故防止県民運動 7月21日から8月20日まで実施



平成23年度「夏の交通事故防止県民運動」(山梨県交通安全対策本部・山梨県交通対策推進協議会主催)が7月21日(木)から8月20日(土)までの1ヶ月間実施されます。同期間中の運動の重点目標は、①高齢者と子どもとの交通事故防止 ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ③自転車の安全利用の推進 ④飲酒運転の根絶と悪質・危険な運転の追放 ⑤二輪車の交通事故防止です。

私たち県民一人一人が交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を徹底させ、交通事故防止を推進してもらいたいと願っています。



◆運転者(同乗者を含む)に対するもの
ぼくはここ チャイルドシートが 指定席

◆歩行者・自転車利用者に対するもの
行けるかな 渡れそうでも 待つ勇氣

◆こども部門
星キラリ 自転車ピカリ 帰り道



高齢歩行者に対する保護、思いやり運転等の励行を

山梨県警察本部交通部参事官 深沢 智明

昨年の県内における高齢者の交通事故死者数は22人と、全死者数の約45%を占め、特に、その中で、道路の横断など歩行者が、14人と高い比率を占めております。

本年に入っても、昨年と同様、高齢者の死亡事故が多く、5月末現在、全死者数22人のうち、高齢者死者は14人で、このうち、9人が道路の横断中に犠牲となられております。

このように、交通事故死者に占める高齢者割合が年々高くなっていくことから、県警察としては、高齢者の交通事故防止対策として、特に、ドライバーに対して、高齢歩行者に対する保護意識の高揚を図るため、「高齢者を交通事故から守る」見る「止まる」「ゆずる」3ルール励行運動を推進しているところであり、

高齢歩行者事故の原因の多くは、運転者の「前方不注意」であり、進路前方をよく見ていなかったため、横断歩行者に全く気づかないままはね飛ばしてしまうケースが多く見られており

ます。

ドライバーの皆さんは、運転中、常に前方左右を注視し、歩行者の有無の確認はもちろん、歩行者を発見した場合には、速度を減じ、あるいは停止するなど、保護と思いやりをもった運転の励行を徹底していただきたいと思っております。

また、高齢者の皆さんには、道路を横断する際、左右の安全確認はもちろん、横断中も近づいてくる車両の動向に注意するとともに、夜間の歩行では、運転者に自分の存在を早く気づかせるため、夜間反射材を必ず身に付けるなど、交通事故から自分の身を守ることを特に意識、励行していただきたいと思っております。

高齢社会がますます進展する中、安全で、そして安心な交通社会を実現するため、交通ルールの遵守はもちろん、保護と思いやりの心を持った優しい運転の励行、交通事故防止に徹するという意識を高めていくことが必要だと思っております。



安全で安心出来る交通社会を目指して

北杜交通安全協会会長 中山 尚武

北杜交通安全協会は、前長坂交通安全協会に葦崎交通安全協会の一部明野、須玉地区を加えて8町、8支部で831人の役員、部員があり、交通安全街頭活動等を通じて日々交通事故防止に取り組んでいます。

市の人口は49千人余り（5月1日現在）、道路は広範囲で、20号、及び141号の国道が、首都圏や静岡、長野県に通じ、さらに中央自動車道も横断し、市全体が風光明媚な自然環境に恵まれている為、県内外から訪れる客も多く、交通環境面でも厳しい状況にあります。

イベント面からは、今秋32回目の八ヶ岳ロードレースや、市内一周自転車大会の開催日には当協会役員が、大会推進の為に交通整理等にも出勤しており、地区毎の各種イベント行事へのボランティア活動にも、多くの役員が携わっております。

こうした状況下昨年は当協会管内の交通事故発生件数は190件（前年比8件増）、死者数5人（同3人増）、負傷者数255人（同3人減）の状況で、特に死亡者の倍増は山梨県内死者49人（同11人増）の起因にもなり残念な内容でした。

春の全国交通安全運動期間中は市内8町が、総合支所単位で街頭キャンペーンや、主要交差点での立番を実施して安全活動につなげています。県境では長野県南佐久交通安全協会と佐久署、北杜署合同で180人規模の交通指導所を官民一体となつて開設、今年16回目を数え、ドライバーへの安全運転啓蒙活動につなげました。高齢者の交通事故対策は安全教室や、交通推進員を委嘱し、交通安全への協力をお願いしています。女性部の活動も、交通安全のマスケット作りや反射材などの配布と合わせて街頭指導所でのキャンペーン活動に役立っています。飲酒運転防止対策は市内全戸に飲酒運転根絶ステッカーを配布し、市長による「飲酒運転根絶宣言」を行ってほしい、市民全体で事故防止に取り組んでいます。

当協会は関係機関、交通関係団体と協力して、全員一丸となり、交通安全への各種活動を推進してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

交通安全功労者等表彰式

関東交通安全協会連合会（今井敬会長）は5月20日、埼玉県さいたま市のロイヤルパインズホテルで交通安全功労者等表彰式を開催しました。

受賞した人たちは、多年にわたり交通安全活動について献身的に尽力し多大な功績があつた個人と団体です。功労者には、関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会会長連名による表彰とともに、その配偶者には関東交通安全協会連合会から感謝状が贈られました。

山梨県関係の受賞者は次の通りです（敬称略）。

- ▼交通安全功労者と夫人
 - 飯窪宗男・れい子（甲府）、根津瑛・恵美（南甲府）、手塚唯美（南アルプス）、望月由勝・由利子（葦崎）、進藤文博・隆子（北杜）、一瀬貞一・和子（諏訪）、幡野幸子・行雄（南部）、田中英光・玲子（笛吹）、飯田よしみ・金六（日下部）、在原進・まさ子（富士吉田）、佐々木團（大月）、秦野久忠・竹美（上野原）
- ▼優良交通安全協会
 - 南アルプス交通安全協会、日下部交通安全協会
- ▼優良職員
 - 三浦有香（県安協）



南甲府安協女性部の活動について

南甲府安協女性部は、14支部のうち10支部に女性部があり、中澤女性部長のもと、部員約40名が活動しています。

管内の交通事故は、県全体の約25%を占めており、このような中で、女性部は、春秋の全国交通安全運動において街頭指導所で配布する、「交通安全グッズ」を製作しております。毎回工夫を凝らしたグッズを製作しており、運転者から好評を得ています。そして、部員の見識を高めるため、警察署の交通課長を招いて「最近の交通情勢・「道路交通法の改正点」などについて年2回研修を受けております。

女性部の課題は、全体的に見て高齢化が進んでいることです。交通安全を通じて、社会に奉仕する女性部の活動に理解があり、一緒に活動が出来る方の入部をお待ちしております。



鯉沢交通安全協会女性部の活動について

〔震災被災児へぬいぐるみ250個手作り〕

鯉沢交通安全協会女性部は、市川三郷町交通安全母の会等と協力し、東日本大震災で被災した子どもたちに向けて、手作りのぬいぐるみ250個を作成しました。ぬいぐるみは、大きさ20cmほどで、一つ一つ袋に包み、「一日も早く笑えますように」などのメッセージと一緒に添えています。

ぬいぐるみは、鯉沢警察署管内に避難している子どもにも配布し、このほか支援部隊員として派遣される同署の女性警察官を通じて避難所などで生活する子どもたちにも渡されました。



～手作りぬいぐるみの贈呈式の様子～



～手作りぬいぐるみ作成の様子～

地域交通安全活動推進委員研修会

地域交通安全活動推進委員研修会が4月27日、山梨県総合交通センターにて開催されました。地域交通安全活動推進委員は山梨県公安委員会より4月7日に2年の任期で委嘱された191名の方たちです。地域交通安全活動推進委員の制度は、地域における道路交通のモラルを向上させ、交通安全の確保について住民の理解を深めるため諸活動のリーダーとして活躍していただくボランティアの人たちに法律上の資格が付与され、その活動の促進を図るために設けられた制度です。そのような制度がより効果的に機能するための一助として、今回の研修会が実施されました。

受講者は、地域交通安全活動推進委員制度の意義、その法的地位や労働上の注意事項等、自転車の点検整備のポイント等についての講話を交えた研修を行いました。

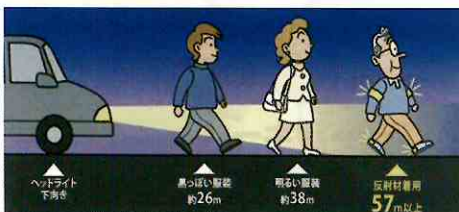


高齢者の事故防止対策

～着けよう反射材、防ごう夜間の交通事故～

交通死亡事故は夜間に発生するものが過半数を占めます。中でも歩行者の場合は約7割が夜間に発生しています。これは、夜間、周囲が暗くなるために車のドライバーの視認性が低下し、歩行者等の発見が遅れることが事故発生の大きな要因と考えられています。

夜間、車から歩行者が見える距離は着ている衣服によつて異なり、一般に黒っぽい服で約26m、白など明るい服で約38mとされています。一方、ドライバーが歩行者を発見してから車が止まるまでの距離は、乾いた路面を時速60kmで走行している場合で約44m。明るい服装であったとしても、交通事故に遭う危険性があるのです。これに対して、反射材を身に付けていた場合、約57m以上の視認性が確保されますので安全性の差は歴然です。



ヘッドライト 下向き
黒っぽい服装 約26m
明るい服装 約38m
反射材着用 57m以上

～各地区交通安全協会の活動～



甲府

街頭指導中



南甲府

春の交通安全運動出発式



南アルプス

交通安全講習会



韭崎

街頭指導中



北杜

ランドセルカバー贈呈



鯉沢

街頭指導中



南部

交通安全講習会



笛吹

街頭指導中



日下部

電動車いす講習会



富士吉田

街頭指導中



大月

安全運転講習会



上野原

街頭指導中

安協会員入会のお願い

「ハンドルキーパー運動」推進中

山梨県交通安全協会は、免許証の取得・更新時に会費を任意でお願いしております。協力を頂いた方の会費は、皆様の住居地の交通安全協会が悲惨な事故を一件でも減らすために、街頭交通安全指導、自転車教室、高齢者安全講習等の各種活動を行っておりますが、こうした活動の経費として活用させて頂いております。

交通安全協会会員の皆様への支援

弁護士無料法律相談

会員が交通事故を発生させたか又は交通事故の被害者となった場合、損害賠償等で疑問があったときは当協会の委託弁護士による無料の法律相談が受けられます。詳しくは山梨県交通安全協会 (TEL055-280-5550) にお問い合わせください。

交通事故見舞金制度

会員が不幸にして交通事故で死亡した場合や後遺症が発生した場合は20万円を限度とした見舞金を交付しております。

免許証ケース及びセーフティドライブマップの進呈

免許証の亡失、損傷を防止するため滑止のついた免許証ケースを進呈します。

Eメール会員へのサービス

運転免許の更新時期のお知らせや安全運転に役立つ情報を提供します。

87 山梨県民の願い!

飲酒運転根絶

ハンドルキーパー運動の推進に協力しています

今日のハンドルキーパーさん、ハンドルキーパー!

ハンドルキーパー運動 推進中